

ブルネンクライスコンサート vol.1

# ひらさわオーケストラ

## 2台のピアノでコンチェルト

2025 **4月6日** (日) 13:30 開場  
14:00 開演

チケット  
一般  
¥2,500  
中学生以下  
¥1,500

仙台銀行ホール  
イズミティ 21  
小ホール

ご予約 QR コード



お問い合わせ

コンサート事務局

090-7660-7070

brunnenkreis@gmail.com

平沢 匡朗

中村智子

齋藤真志男

寺木一希

石川奈緒美

program  
プログラム

- 寺木一希 J.S. バッハ チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055
- 齋藤真志男 モーツァルト ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466より第1楽章
- 中村智子 モーツァルト ピアノ協奏曲 第13番 ハ長調 K. 415より第1楽章
- 石川奈緒美 シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 Op. 54より第1楽章
- 平沢匡朗 ゴドフスキー ヨハン・シュトラウスの喜歌劇「こうもり」の主題による  
コンサートパラフレーズ

※曲目・曲順は変更になる場合がございます

## Profile

### 平沢 匡朗



桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山靖子、渡邊康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。各地よりピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK・FM『FMリサイタル』などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。また、室内楽奏者としても、イヴリー・ギトリス、トーマス・フェオドロフ、カリン・アダム、マルタ・カーデム＝ミサク、水島愛子（バイエルン放送交響楽団元奏者）、木野雅之、天満敦子等のヴァイオリニスト、宮原卓也、原田茂生他多数の声楽家と共演。1996年より《Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭》に参加、24年にわたり音楽祭のコレペティトゥーア（公式伴奏者）として活動、多数のヨーロッパ若手演奏家と共演しており、その経験から得た独奏者として独自の解釈と視点による、モーツァルト、ベートーヴェン等ウィーン古典派音楽の演奏には定評がある。現在、愛知県立芸術大学講師、洗足学園音楽大学講師として後進の指導にもあたっている。

#### ✿主な演奏歴✿

- ・1996年より《Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭》に参加、24年にわたり音楽祭のコレペティトゥーア（公式伴奏者）として活動。
- ・2005年と2013年にモーツァルトのピアノソナタの全曲連続演奏会を2回開催。
- ・2016年からは、横浜市神奈川区民文化センター（かなっくホール）におけランチタイム・レクチャーコンサートシリーズを始め、2016年度「モーツァルトの会」、2017年度「ショパンの会」、2018年度は「メンデルスゾーンの会」、2019年度「シューマンの会」2020年度「ベートーヴェンの会」を監修、出演、好評を博す。

#### ✿その他の活動✿

チェンバロ奏者として

- ・2011年9月には日本フィルハーモニー交響楽団とバッハのブランデンブルク協奏曲第5番を演奏
  - ・2015年、18年、19年、20年、22年にはバッハのゴールドベルグ変奏曲全曲コンサート
- 指揮者として  
2015年王子ホール、2017年東京文化会館でピアノ、指揮の2役によるモーツァルトのピアノ協奏曲の演奏会を開催。

✿YouTubeチャンネル「平沢匡朗」✿



寺木一希

福島県出身。山形大学地域教育文化学部卒業。現在、島村楽器仙台泉パークタウンピアノ店ピアノインストラクター。YCMオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」「ヘンゼルとグレーテル」「オルフェオとエウリディーチェ」ピアニストを務めるなど、各種演奏会に出演。会津演奏家連盟会員。現在は仙台を中心に活動を行い、ソロの他、伴奏や室内楽など多数の演奏会に出演。近年は「Naotera Piano Duo」として石川奈緒美とのデュオ活動にも力を入れている。4手連弾で名曲を奏でるコンサートシリーズ「なおてらクラシック」を継続して行い、好評を得ている。これまで、上田はま子、小林広美、江川龍二、植木由利子中畑淳、柴田千賀子、平沢匡朗の各氏に師事。



齋藤真志男

仙台市出身。宮城教育大学教育学部を経て同大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。ヤマハ音楽教室で音楽の手解きを受け、自作自演のコンクールJOC（ジュニアオリジナルコンサート）で東北大会まで進出。大学院の修了作品として日本語の詩による歌曲集を作曲した。その後、中学および高校の教諭や会社員など様々な職業を経て2016年より島村楽器にてピアノ講師となり現在に至る。また同時期より作編曲や音楽制作の活動を開始し、合唱やピアノ連弾のための編曲、歌曲やピアノ曲の作曲オリジナル曲の制作や動画のBGM制作などを行なっている。これまでソルフェージュ・ピアノ・作曲を藤原和子氏に、作曲を浅香満、吉川和夫の両氏に、ピアノを平沢匡朗氏に師事。



中村智子

仙台市出身。宮城学院女子大学学芸学部音楽科ピアノ専攻卒業。中学・高等学校教諭一種免許状（音楽）を取得。東北ショパン学生ピアノコンクール本選入選、ピアノ教育連盟ピアノオーディション奨励賞。現在は、仙台市を中心にソロの他、コンサート・コンクールのアンサンブルピアニストとして活動している他、島村楽器ピアノ科講師として後進の育成にあたっている。レパートリーは、クラシックの他、ポップス、映画音楽など多数にわたる。とっておきの音楽祭、仙台クラシックフェスティバル地下鉄コンサート、岩手県立美術館ミュージアムコンサート、文化庁派遣事業、など様々な演奏会に出演。これまでピアノを菊池真由美氏、植木由利子氏、平沢匡朗氏、ピアノデュオを伊達華子氏、ソルフェージュを菊池真知子氏に師事。



石川奈緒美

愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を経て、同大学大学院ピアノ専攻修了。中村桃子賞受賞。同大学定期演奏会、卒業演奏会に出演。大学院修了後、愛知県内公立中学校教諭、北星学園女子中学高等学校音楽科専任教諭を経て、現在島村楽器ピアノ科講師として後進の育成にあたっている。第3回東北ショパン学生ピアノコンクール本選入選、第37回全東北ピアノコンクール東北放送奨励賞、第28回家永音楽事務所ピアノオーディション合格、津田ホールにて合格者演奏会に出演、第27回日本クラシック音楽コンクール第5位（1.2位なし）、第20回日本演奏家コンクール本選奨励賞、第2回日本奏楽コンクール第1位など、数多くの国内コンクールで上位入賞。これまで、名古屋、札幌、仙台でリサイタルを行うなど、数多くの演奏会に出演。現在はソロや伴奏など、仙台を中心に活動中。これまでに、故石川治子、故大堀敦子、松本総一郎、柴田千賀子、平沢匡朗の各氏に師事。